



おかむら通信 198号

令和3年10月号



ご挨拶

今年でこの通信は、約18年目かな、よく続いてきましたね、途中でやめようかなと思ったときもありましたが、自然にペンがうごいていました。みんなとの交流の機会がぜひ必要だったからです。この紙1枚にこだわって。

今後ともよろしくお願ひいたします。

今月の言葉

闇の世界の方た、あまりにも図に乗ってやりたい放題ではないでしょうか？ 光の世界の方々の、大切なこころ、生活、大事な仕事、、踏みにじっていませんでしょうか？ さらに本当にこの国を大事にしている人々の生きる権利も損ない始めているのではないか？ 彼らはわが国民の1割にも満たない。どうにかせねばならないのですね。

医療の世界では 全体の感染数は減りつつあるようです。「新型コロナウィルス感染症」において。しかし、われわれ医療従事者の仕事量、肉体的・精神的な我慢は限界に近づいています。この感染症に携わっている人たちは。（院長）

院長より

今月より12歳以上の方のワクチン接種を当院でも開始いたします。



<庸介先生のやさしいがん（癌）のお話>

第1回：消化管粘膜に発生する癌（食道癌・胃癌・大腸癌）などについて。

③癌の治療ってどんな感じ？（①②は、197号に記載）

手術、放射線、化学療法、この3つの治療を積極的治療と言って、癌をとつたり減らしたりする治療です。臨床試験を詳しく行ってメリットとデメリットがよく分かっているので、世界で推奨されています。温熱療法とか免疫療法とか食事療法とかも耳にすることがあると思いますがおすすめできません。なぜなら臨床試験が十分に行われていないからです。今後、標準治療に加わる可能性もありますし、併用することも悪くないですが、現時点では「どれくらい効果があるのか、どういう副作用があるのかよくわかっていない治療」と考えておくとよいでしょう。さて少し前に言いました「緩和医療」とは何でしょう。切除不能進行癌になってしまったら、抗がん剤や放射線治療を行うか、或いは苦しい症状を減らす治療のみにするか、という選択肢になります。すこし表現に語弊がありましたね。抗癌剤や放射線の決断をしたとしても、苦しい症状を減らす治療は同時並行で行います。何故なら、どんな時だって苦しい症状を減らすのは当然の事だからで、この治療を『緩和医療（緩和ケアともいう）』と言う訳です。薬で言えば、医療用麻薬を含めた痛み止め、そして倦怠感を取るステ





ロイド剤が主です。ほかに腹水がたまって辛かったら抜くこともそうですし、腸液がたまってつらい時に投与する薬もありますし色々です。

次回は、第2回を設けて解説をいたします。何か知りたいことがありましたら、受付さんにお伝えください。わからないことはわからないとしか言えませんが、わかることであればお答え致します。今後ともよろしくお願ひいたします。

岡村庸介



<10月の院内外活動>

- 1/ (水) WEB 予防接種の重要性（水痘帯状疱疹ウィルス対策）藤田医科大学
2/ (木) WEB 心不全の診断と治療 松戸市医師会
6/ (月) WEB うつ病治療の最適化、COVID-19 関連も含めて 東京女子医大
7/ (火) WEB 外科医が考える左心耳／左房機能から診る心不全 愛媛大学
8/ (水) WEB 心の病の心療内科的解決法 某精神科医
11/ (土) You tube で：世界の医療及びGP（総合診療について）Junior&Senior
町先生（ハワイ大学）と 和足先生
13/ (月) WEB 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎など）最先端治療 新東京病院
14/ (火) WEB 高齢者的心不全の新しい考え方 東京都健康長寿医療センター
15/ (水) WEB 漢方薬の保険適応症 千葉大学
16/ (木) WEB 糖尿病性腎症とSGLT2阻害薬の最新知見 順天堂大学
17/ (金) WEB 虚弱高齢者の栄養管理と漢方薬治療 目白第2病院
25/ (土) WEB 漢方セミナー 補剤（補中益気湯・人参養榮湯）の決め手
28/ (火) WEB 慢性閉塞性肺疾患への新しい治療・生物学的製剤の使用（海外の
大学の症例発表）
WEB 好酸球性重症喘息の治療 某大学先生、
29/ (水) WEB 腎臓を考慮した糖尿病の治療 大阪大学
30/ (木) WEB 腸内微生物と炎症性疾患、神経発達障害 杏林大学

WEB 講演から一つ抜粋：

妊婦の時に暴露された胎児の腸内細菌叢が将来の潰瘍性大腸炎・クローン病の発生、および、将来発生する発達障害の発生に関する可能性が示唆されている。その影響を与えるものの一つが抗生物質とも言われている。考えさせられますね。



先日、市川の重カ木植物園まで、久し振りのお出掛けをしてみました。密にふることもなく、小規模ながら色々な重カ木たちにとても癒されました。



感染対策に気を引き締めつつも、自分なりの
楽しさを見つけると気持ちが
昇るところですね。 七種

